

下部消化管腫瘍

結腸・直腸癌

結腸・直腸癌

FOLFIRI(CPT-11/5-FU/I-LV)療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV ②③同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/時	↓
③	DIV側管 ②③同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

結腸・直腸癌

mFOLFOX6(Oxaliplatin/5-FU/I-LV)療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓
②	DIV ②③同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出	↓
③	DIV側管 ②③同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

結腸・直腸癌 塩酸イリノテカン隔週投与療法

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg（減量可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

結腸・直腸癌
塩酸イリノテカン毎週投与療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8	Day 15
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 100 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	↓	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓	↓

結腸・直腸癌 sLV5FU2療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

結腸・直腸癌

mFOLFOX6＋ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	ベバシズマブBS注 5mg/kg 生理食塩液注 100ml (全部で100ml)	初回:67ml/時;90分 2回目:100ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓
③	DIV ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓
④	DIV側管 ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	15分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑦	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

結腸・直腸癌

FOLFIRI + ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	ベバシズマブBS注 5 mg /kg 生理食塩液注 100 ml (全部で100ml)	初回: 67ml/時; 90分 2回目: 100ml/時; 60分 3回目以降: 200ml/時; 30分	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/時	↓
④	DIV側管 ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	15分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑦	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

結腸・直腸癌
sLV5FU2 + ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	ベバシズマブBS注 5 mg/kg 生理食塩液注 100ml (全部で100ml)	初回: 67ml/時; 90分 2回目: 100ml/時; 60分 3回目以降: 200ml/時; 30分	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	15分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

結腸・直腸癌

ティーエスワン+塩酸イリノテカン療法

	投与方法	薬剤		投与時間	Day 1	Day 1-14
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg（減量可）		15分 200 ml/時	↓	
②	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²		90分 333 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml		6分 500 ml/時	↓	
④	PO	エスワン		1日2回		→
		体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)			
		1.25m ² 未満	40mg/回			
		1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回			
		1.5 m ² 以上	60mg/回			

結腸・直腸癌 セツキシマブ単剤療法（初回）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml	60分 250 ml/時	↓

インターバル日数 7日

結腸・直腸癌

セツキシマブ単剤療法（2回目以降）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

セツキシマブ＋FOLFIRI(CPT-11/5-FU/I-LV)療法(初回、同日)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可6.6mgまで)	15分 200 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑥	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時		↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑧	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml	120分	↓	
⑧⑨同時投与		イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	125 ml/時		
⑨	DIV側管	5%ブドウ糖液注 500 ml	120分	↓	
⑧⑨同時投与		レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	250 ml/時		
⑩	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓	
⑪	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑫	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

結腸・直腸癌
セツキシマブ＋FOLFIRI(CPT-11/5-FU/I-LV)療法
(2サイクル目以降、同日)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時	↓	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑦	DIV ⑦⑧同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/時	↓	
⑧	DIV側管 ⑦⑧同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓	
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓	
⑩	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑪	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

セツキシマブ＋塩酸イリノテカン毎週投与療法(初回)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8	Day 15	Day 22
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓	↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 13.2 mg(減量可) セロトニン受容体拮抗薬	15分 200 ml/時	↓	↓	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時				↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓			
⑥	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時		↓	↓	↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓	↓	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 100 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	↓	↓	
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓	↓	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

結腸・直腸癌

セツキシマブ＋塩酸イリノテカン毎週投与療法(2サイクル目以降)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8	Day 15	Day 22
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓	↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg セロトニン受容体拮抗薬	15分 200 ml/時	↓	↓	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時				↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時	↓	↓	↓	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓	↓	↓
⑦	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 100 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	↓	↓	
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓	↓	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

セツキシマブ＋塩酸イリノテカン隔週投与療法（初回）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑥	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時		↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

セツキシマブ＋塩酸イリノテカン隔週投与療法(2サイクル目以降)

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1	Day 8
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時	↓	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑦	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

結腸・直腸癌

CAPOX (Capecitabine/Oxaliplatin)療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓	
②	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 130 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
④	PO	ゼローダ 2000 mg/m ² /日	1日2回		→

* ゼローダはDay1の夕よりDay15の朝まで

CAPOX (Capecitabine/Oxaliplatin) +ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	DIV	ベバシズマブBS注 7.5mg/kg 生理食塩液注 100 ml (全部で100ml)	初回: 67 ml/時; 90分 2回目: 100 ml/時; 60分 3回目以降: 200ml/時; 30分	↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 130 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑤	PO	ゼローダ 2000 mg/m ² /日	1日2回		→

* ゼローダはDay1の夕よりDay15の朝まで

結腸・直腸癌
カペシタビン+ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	DIV	ベバシズマブBS注 7.5 mg/kg 生理食塩液注 100 ml(全部で100ml)	初回:67 ml/時;90分 2回目:100 ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
③	PO	ゼローダ 2000 mg/m ² /日	1日2回		→

* ゼローダはDay1の夕よりDay15の朝まで

結腸・直腸癌

SOX (S-1+Oxaliplatin)療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14								
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓									
②	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 130 mg/m ²	120分 流速を算出	↓									
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓									
④	PO	エスワン <table><tr><td>体 表 面 積</td><td>初回基準量(テガフル相当量)</td></tr><tr><td>1.25m²未満</td><td>40mg/回</td></tr><tr><td>1.25m²以上 ～ 1.5 m²未満</td><td>50mg/回</td></tr><tr><td>1.5 m²以上</td><td>60mg/回</td></tr></table>	体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)	1.25m ² 未満	40mg/回	1.25m ² 以上 ～ 1.5 m ² 未満	50mg/回	1.5 m ² 以上	60mg/回	1日2回		→
体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)												
1.25m ² 未満	40mg/回												
1.25m ² 以上 ～ 1.5 m ² 未満	50mg/回												
1.5 m ² 以上	60mg/回												

結腸・直腸癌
エスワン+オキサリプラチン +ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14								
①	DIV	ベバシズマブBS注 7.5 mg/kg 生理食塩液注 100 ml(全部で100 ml)	初回:67ml/時;90分 2回目:100ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓									
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓									
③	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 130 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓									
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓									
⑤	PO	エスワン <table><tr><th>体 表 面 積</th><th>初回基準量(テガフル相当量)</th></tr><tr><td>1.25m²未満</td><td>40mg/回</td></tr><tr><td>1.25m²以上 ~ 1.5 m²未満</td><td>50mg/回</td></tr><tr><td>1.5 m²以上</td><td>60mg/回</td></tr></table>	体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)	1.25m ² 未満	40mg/回	1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回	1.5 m ² 以上	60mg/回	1日2回		→
体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)												
1.25m ² 未満	40mg/回												
1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回												
1.5 m ² 以上	60mg/回												

* エスワンはDay1の夕よりDay15の朝まで

インターバル日数 21日

結腸・直腸癌
セツキシマブ+mFOLFOX6療法(初回、2回目)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可6.6mgまで)	15分 200 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑥	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時		↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑧	DIV ⑧⑨同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓	
⑨	DIV側管 ⑧⑨同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓	
⑩	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓	
⑪	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑫	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

結腸・直腸癌
セツキシマブ＋mFOLFOX6療法(2サイクル目以降)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可6.6mgまで)	15分 200 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250 mlに調製)	60分 250 ml/時	↓	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑦	DIV ⑦⑧同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓	
⑧	DIV側管 ⑦⑧同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓	
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓	
⑩	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑪	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

文献:Folprecht G et al. Lancet Oncol 2010; 11: 38-47

インターバル日数 14日

結腸・直腸癌 パニツムマブ単独療法

	投与方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 100 ml ベクティビックス 6 mg/kg (全量を100mlに調製)	60分 100 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	初回 60分 50ml/時 2回目以降 6分 500 ml/時	↓

1回投与量として1,000 mgを越える場合は、生食を添加して全量を約150 mLとし、90分以上かけて点滴静注すること
ベクティビックスにはフィルター必要
過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、投与後1時間は経過観察する

結腸・直腸癌
パニツムマブ＋mFOLFOX6療法

	投与方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ベクティビックス 6 mg/kg （全量を100 mlに調製）※	60分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV ⑤⑥同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出	↓
⑥	DIV側管 ⑤⑥同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑨	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

※1回投与量として1,000 mgを越える場合は、生食を添加して全量を約150 mLとし、90分以上かけて点滴静注すること
ベクティビックスにはフィルター必要

結腸・直腸癌
パニツムマブ＋FOLFIRI療法

	投与 方法	薬 剤	投与 時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg（減量可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ベクティビックス 6 mg/kg（全量を100mlに調製）※	60分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV ⑤⑥同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/時	↓
⑥	DIV側管 ⑤⑥同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑧	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

※1回投与量として1,000 mgを越える場合は、生食を添加して全量を約150 mLとし、90分以上かけて点滴静注すること
ベクティビックスにはフィルター必要

結腸・直腸癌
パニツムマブ + sLV5FU2療法

	投与 方法	薬 剤	投与 時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (6.6 mg or 3.3 mg)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ベクティビックス 6 mg/kg (全量を100 mlに調製) ※	60分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑦	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

※1回投与量として1,000 mgを越える場合は、生食を添加して全量を約150 mLとし、90分以上かけて点滴静注すること

ベクティビックスにはフィルター必要

文献： S. Siena :ASCO GI 2010,Abstract 283

インターバル日数14日

結腸・直腸癌

塩酸イリノテカン + ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	ベバシズマブBS注 5 mg /kg 生理食塩液注 100 ml (全部で100 ml)	初回: 67ml/時; 90分 2回目: 100ml/時; 60分 3回目以降: 200ml/時; 30分	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

文献: BICC-C study. ASCO 2006; #3506
Bevacolor study ASCO 2008; #493

インターバル日数 14日

結腸・直腸癌

ティーエスワン+塩酸イリノテカン(隔週)+ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 15	Day 1-14								
①	DIV	ベバシズマブBS注 5 mg/kg 生理食塩液注 100 ml (全部で100 ml)	初回: 67ml/時; 90分 2回目: 100ml/時; 60分 3回目以降: 200ml/時; 30分	↓	↓									
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓	↓									
③	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 100 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	↓									
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓									
⑤	PO	エスワン <table><tr><td>体 表 面 積</td><td>初回基準量 (テガフル相当量)</td></tr><tr><td>1.25m²未満</td><td>40mg/回</td></tr><tr><td>1.25m²以上 ~ 1.5 m²未満</td><td>50mg/回</td></tr><tr><td>1.5 m²以上</td><td>60mg/回</td></tr></table>	体 表 面 積	初回基準量 (テガフル相当量)	1.25m ² 未満	40mg/回	1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回	1.5 m ² 以上	60mg/回	1日2回			→
体 表 面 積	初回基準量 (テガフル相当量)													
1.25m ² 未満	40mg/回													
1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回													
1.5 m ² 以上	60mg/回													

結腸・直腸癌
ティーエスワン+塩酸イリノテカン隔週投与療法

	投与 方法	薬 剤	投与 時間	Day 1	Day 15	Day 1-14								
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓	↓									
②	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 125 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	↓									
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓									
④	PO	エスワン <table><tr><td>体 表 面 積</td><td>初回基準量(テガフル相当量)</td></tr><tr><td>1.25m²未満</td><td>40mg/回</td></tr><tr><td>1.25m²以上 ~ 1.5 m²未満</td><td>50mg/回</td></tr><tr><td>1.5 m²以上</td><td>60mg/回</td></tr></table>	体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)	1.25m ² 未満	40mg/回	1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回	1.5 m ² 以上	60mg/回	1日2回			→
体 表 面 積	初回基準量(テガフル相当量)													
1.25m ² 未満	40mg/回													
1.25m ² 以上 ~ 1.5 m ² 未満	50mg/回													
1.5 m ² 以上	60mg/回													

結腸・直腸癌 パニツムマブ＋塩酸イリノテカン療法

	投与方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg（減量可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ベクティビックス 6 mg/kg（全量を100mlに調製）※	60分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500ml/時	↓

※1回投与量として1,000 mgを越える場合は、生食を添加して全量を約150 mLとし、90分以上かけて点滴静注すること

ベクティビックスにはフィルター必要

文献：Benoist C, et al. ASCO 2011 Abstract #3573

インターバル日数 14日

結腸・直腸癌

XELIRI (Capecitabine/CPT-11) +ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	DIV	ベバシズマブBS注 7.5 mg/kg 生理食塩液注 100 ml (全部で100 ml)	初回:67ml/時;90分 2回目:100ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 200 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑤	PO	ゼローダ 1600 mg/m ² /日	1日2回		→

*ゼローダはDay1の夕からDay15の朝まで

文献: M. Ducreux European Journal of Cancer (2013) xxx, xxx- xxx

インターバル日数 21日

結腸・直腸癌
XELIRI (Capecitabine/CPT-11)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓	
②	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 200 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
④	PO	ゼローダ 1600 mg/m ² /日	1日2回		→

ゼローダはDay1の夕からDay15の朝まで

結腸・直腸癌 FOLFOXIRI 療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注 165 mg/m ²	90分 167 ml/時	↓
③	DIV ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓
④	DIV側管 ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	フルオロウラシル注 3200 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 140 ml 2日用ポンプを使用	48時間	→

FOLFIRI + ラムシルマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg サイラムザ開始30分前までに内服(省略可)		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注13.2mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 250ml サイラムザ注 8mg /kg	初回 250 mL/時 60分 2回目以降 500mL/時 30分	↓
④	DIV	生理食塩液注 50ml (ルート内をフラッシュするために 20ml以上を投与)	初回250mL/時 2回目以降 500mL/時 (③と同じ速度)	↓
⑤	DIV ⑤⑥同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/時	↓
⑥	DIV側管 ⑤⑥同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑨	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

※サイラムザにはフィルター必要

infusion reaction が発現したことがあれば流速を50%にすること

結腸・直腸癌

FOLFOXIRI＋BV療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	ベバシズマブBS注 5mg/kg 生理食塩液注 100ml (全部で100ml)	初回：67ml/時；90分 2回目：100ml/時；60分 3回目以降：200ml/時；30分	↓
②	DIV	生理食塩液注 50ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9 mg (減量可) アプレピタントカプセル125mg (削除可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注 165 mg/m ²	60分 250 ml/時	↓
④	DIV ④⑤同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓
⑤	DIV側管 ④⑤同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑦	DIV	フルオロウラシル注 3200 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 140 ml 2日用ポンプを使用	48時間	→

※アプレピタント125mgを使用する際はDay2,3にアプレピタント80mgを服用

結腸・直腸癌

5FU/LV＋BV療法（FOLFOXIRI＋BV後の維持療法）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	ベバシズマブBS注 5mg/kg 生理食塩液注 100ml (全部で100ml)	30分 200ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50ml デキサート注 6.6 mg (減量可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50ml	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	フルオロウラシル注 3200 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 140 ml 2日用ポンプを使用	48時間	→

・臨床試験では、FOLFOXIRI+BV療法を最大12コースまで施行した後、これに移行した。

転移・再発 結腸・直腸癌

FOLFIRI + アプリベルセプト療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注13.2mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	ザルトラップ注 4mg /kg 生理食塩液 100ml	60分 100 ml/時	↓
③	DIV ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/時	↓
④	DIV側管 ③④同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑦	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

ザルトラップにはフィルター必要

塩酸イリノテカン＋ラムシルマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg サイラムザ開始30分前までに内服(省略可)		
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注13.2mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 250ml サイラムザ注 8mg /kg	初回 250 mL/時 60分 2回目以降 500mL/時 30分	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml (ルート内をフラッシュするために 20ml以上を投与)	初回 250ml/時 2回目以降 500mL/時 (③と同じ速度)	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓
⑥	DIV	生理食塩液 50ml	6分 500 ml/時	↓

※サイラムザにはフィルター必要 infusion reactionが発現したことがあれば流速を50%にすること

※何らかの理由でFOLFIRIのフルオロウラシル＋レボホリナートが使用しづらい症例に限る

ガイドライン: NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Colon Cancer V.3.2018

NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Rectal Cancer V.3.2018

インターバル日数 14日

転移・再発 結腸・直腸癌

イリノテカン＋アフリベルセプト療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注13.2mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	ザルトラップ注 4mg /kg 生理食塩液 100ml	60分 100 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液 50ml	6分 500 ml/時	↓

※ザルトラップにはフィルター必要

※何らかの理由でFOLFIRIのフルオロウラシル＋レボホリナートが使用しづらい症例に限る

ガイドライン: *NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Colon Cancer V.3.2017*
NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Rectal Cancer V.3.2017

文献: *Med Oncol (2017)34:193*

インターバル日数 14日

トリフルリジン・チピラシル＋ベバシズマブ療法

原則3次治療以降で使用する。1、2次治療で使用する場合は標準治療の対象とならない患者であること。

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-5	Day 8-12	Day 15
①	DIV	ベバシズマブBS注 5mg/kg 生理食塩液注 100ml (全部で100ml)	初回:67ml/時;90分 2回目:100ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓			↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓			↓
③	PO	ロンサーフ 35mg/m ² /回	2回/日(朝夕食後)		→	→	
		体 表 面 積(m ²)	初回基準量 (トリフルリジン相当量)				
		1.07未満	35mg/回(70mg/日)				
		1.07以上～1.23未満	40mg/回(80mg/日)				
		1.23以上～1.38未満	45mg/回(90mg/日)				
		1.38以上～1.53未満	50mg/回(100mg/日)				
		1.53以上～1.69未満	55mg/回(110mg/日)				
		1.69以上～1.84未満	60mg/回(120mg/日)				
		1.84以上～1.99未満	65mg/回(130mg/日)				
		1.99以上～2.15未満	70mg/回(140mg/日)				
		2.15以上	75mg/回(150mg/日)				

* ロンサーフはDay1の夕より(5日間内服、2日間休薬)を2週間行い、2週間休薬する。

結腸・直腸癌
mFOLFOXIRI＋パニツムマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9mg(減量可) アプレピタントカプセル125mg(削除可)	15分 200ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50ml	6分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100ml ベクティビックス6mg/kg(全量を100mlに調整)※	60分 100ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50mL	6分 500 ml/時	↓
⑤	DIV	5%ブドウ糖注液 250ml イリノテカン点滴静注 150mg/m ²	60分 250ml/時	↓
⑥	DIV ⑥⑦同時投与	5%ブドウ糖注液 250ml オキサリプラチン注 85mg/m ²	120分 流速を算出する	↓
⑦	DIV側管 ⑥⑦同時投与	5%ブドウ糖注液 500ml レボホリナート点滴静注用200mg/m ²	120分 250ml/時	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑨	DIV	フルオロウラシル注3000mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量140ml 2日用ポンプを使用	48時間	→

※1回投与量として1,000 mgを越える場合は、生食を添加して全量を約150 mLとし、90分以上かけて点滴静注すること
ベクティビックスにはフィルター必要
適応に関しては、カンファレンスでよく検討すること

MSI-Highを有する結腸・直腸癌 ニボルマブ療法

	投与 方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注240mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 148ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500ml/h	↓

※オプジーボはインラインフィルター(0.2又はは0.22μm)を用いて投与する。

※がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発のMSI-Highを有する大腸癌。
フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチン及びイリノテカン塩酸塩水和物による治療歴のない患者における有効性及び安全性は確立していない。

MSI-Highを有する結腸・直腸癌 ニボルマブ＋イピリウムマブ併用療法

	投与 方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注 240 mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 148 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/h	↓
④	DIV	ヤーボイ点滴静注 1mg/kg 生理食塩液注 30 ml * 体重40kg未満の場合は生理食塩液の量を 20mlに減量すること	30分 流速を算出すること	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500ml/h	↓

※オプジーボはインラインフィルター(0.2または0.22μm)を用いて投与する。
※ヤーボイはインラインフィルター(0.2-1.2μm)を用いて投与する。
※ヤーボイは1-4mg/mLの濃度になるよう希釈する。
※最大4サイクルまでの投与である。
※ 4回投与完了後はオプジーボ単剤療法(240mg/body 2週間隔、もしくは480mg/body 4週間隔)を行う。

参考文献: 添付文書

Overman MJ et al.: J Clin Oncol, 36:773-779, 2018

インターバル日数 21日

MSI-Highを有する結腸・直腸癌 ニボルマブ療法(4週間間隔)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注 480mg/body 生理食塩液注 100ml	30分 300 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500ml/h	↓

※インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与する。
※がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発のMSI-Highを有する大腸癌に適応。
フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチンおよびイリノテカン塩酸塩水和物による
治療歴のない患者における有効性および安全性は確立していない。
※ニボルマブを4週毎投与で導入する際は、少なくとも最初の3コースまでは2週毎に診察し、
バイタルサイン、採血をチェックすること。

参考文献: 添付文書

Long GV et al.: Ann Oncol, 29:2208-2213, 2018

インターバル日数 28日

結腸・直腸癌 69

BRAF遺伝子変異を有する結腸・直腸癌

エンコラフェニブ＋ビニメチニブ＋セツキシマブ併用療法

(初回)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-7
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml	60分 250ml/時	↓	
⑥	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→
⑦	PO	メクトビ 90mg/日	1日2回		→

＊メクトビはDay1の夕よりDay8の朝まで

※がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適応。
 ※一次治療における有効性および安全性は確立していない。
 ※ビラフトビ、メクトビはそれぞれ単剤では使用しないこと。
 参考文献：添付文書

BRAF遺伝子変異を有する結腸・直腸癌 エンコラフェニブ＋ビニメチニブ＋セツキシマブ併用療法 (2回目以降)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-7
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² (全量を250mlに調製)	60分 250 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250ml/時	↓	
⑥	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→
⑦	PO	メクトビ 90mg/日	1日2回		→

* メクトビはDay1の夕よりDay8の朝まで

※がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適応。

※一次治療における有効性および安全性は確立していない。

※過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

※ビラフトビ、メクトビはそれぞれ単剤では使用しないこと。

参考文献: 添付文書

BRAF遺伝子変異を有する結腸・直腸癌
エンコラフェニブ＋セツキシマブ併用療法(初回)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-7
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 400 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml	60分 250ml/時	↓	
⑥	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→

※がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適応。
※一次治療における有効性および安全性は確立していない。
※アービタックスを休薬または中止する場合にはビラフトビもそれぞれ休薬または中止すること。

参考文献: 添付文書

Kopetz S et al.: N Engl J Med, 381(17):1632-1643, 2019

インターバル日数 7日

BRAF遺伝子変異を有する結腸・直腸癌
エンコラフェニブ＋セツキシマブ併用療法（2回目以降）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-7
①	PO	レスタミン（10mg）錠 50mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 250 ml アービタックス 250 mg/m ² （全量を250mlに調製）	60分 250 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250ml/時	↓	
⑥	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→

※がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適応。

※一次治療における有効性および安全性は確立していない。

※過去にインフュージョンリアクション（軽度を含む）を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速（125ml/時）するとともに、投与後1時間は経過観察する（例：生食250mlを点滴）

※アービタックスを休薬または中止する場合にはビラフトビもそれぞれ休薬または中止すること。

参考文献：添付文書

Kopetz S et al.: N Engl J Med, 381(17):1632-1643, 2019

インターバル日数 7日

結腸・直腸癌
Biweeklyセツキシマブ単剤療法

	投与 方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン (10mg) 錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/h	↓
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/h	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml	60分 250 ml/h	↓

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者は、添付文書に従い投与を減速(125ml/h)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

Biweeklyセツキシマブ＋FOLFIRI(CPT-11/5-FU/I-LV)療法

	投与 方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン (10mg) 錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可6.6 mgまで)	15分 200 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/h	↓
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/h	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/h	↓
⑥	DIV ⑥⑦同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	120分 125 ml/h	↓
⑦	DIV ⑥⑦同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/h	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/h	↓
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑩	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量130ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者は、添付文書に従い投与を減速(125ml/h)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)
参考文献: 社会保険診療報酬支払基金審査情報提供事例 令和元年9 月30 日

インターバル日数 14日

結腸・直腸癌
Biweeklyセツキシマブ＋塩酸イリノテカン隔週投与療法

	投与 方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン (10mg) 錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可6.6 mgまで)	15分 200 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/h	↓
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/h	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/h	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 500 ml イリノテカン点滴静注液 150 mg/m ²	90分 333 ml/h	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/h	↓

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者は、添付文書に従い投与を減速(125ml/h)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

結腸・直腸癌
Biweeklyセツキシマブ＋mFOLFOX6療法

	投与 方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン (10mg) 錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg (減量可6.6 mgまで)	15分 200 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/h	↓
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/h	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/h	↓
⑥	DIV ⑥⑦同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出	↓
⑦	DIV ⑥⑦同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/h	↓
⑧	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/h	↓
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓
⑩	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量130ml 2日用ポンプを使用	46時間	→

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者は、添付文書に従い投与を減速(125ml/h)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

参考文献: 社会保険診療報酬支払基金審査情報提供事例 令和元年9 月30 日

インターバル日数 14日

セツキシマブ＋mFOLFOXIRI療法（初回）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day1	Day8
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可 6.6 mgまで)	15分 200 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液 500 ml アービタックス注 400 mg/m ²	120分 250ml/時	↓	
⑥	DIV	生理食塩液 250 ml アービタックス注 250 mg/m ²	60分 250ml/時		↓
⑦	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑧	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注 150 mg/m ²	60分 250 ml/時	↓	
⑨	DIV 9, 10 同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓	
⑩	DIV 9, 10 同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓	
⑪	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑫	DIV	フルオロウラシル注 2,400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

1コース目day1は入院にて施行すること

文献: S Kadowaki et al, Int J Clin Oncol 2021 Apr;26(4):701-707.

: A Tsuji et al, JCO.2021.39.15_suppl.3501 : <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT02515734>

インターバル日数 14日

セツキシマブ＋mFOLFOXIRI療法(2回目以降)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day1	Day8
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50 mg		↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可 6.6 mgまで)	15分 200 ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/時	↓	↓
⑤	DIV	生理食塩液 250 ml アービタックス注 250 mg/m ²	60分 250ml/時	↓	↓
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/時	↓	↓
⑦	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml イリノテカン点滴静注 150 mg/m ²	60分 250 ml/時	↓	
⑧	DIV 8,9同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出すること	↓	
⑨	DIV 8,9 同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓	
⑩	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑪	DIV	フルオロウラシル注 2,400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量 130 ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴)

文献 : S Kadowaki et al, Int J Clin Oncol 2021 Apr;26(4):701-707.

: A Tsuji et al, JCO.2021.39.15_suppl.3501

: <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT02515734>

インターバル日数 14日

結腸・直腸癌

UFT/LV+ベバシズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 15	Day 1-21
①	DIV	ベバシズマブBS注 5 mg/kg 生理食塩液注 100 ml(全部で100ml)	初回:67 ml/時;90分 2回目:100 ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓	↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓	
③	PO	ユーエフティ カプセル 300 mg/m ² /日 ユーゼル 錠 75mg/日	1日3回 (一緒に服用)			→

- * ユーエフティとユーゼルは食事の前後1時間を避け、約8時間毎に服用
- * ユーエフティとユーゼルはDay1の夕食間から開始し、Day22の昼食間まで内服

臨床試験では75歳以上の高齢者を対象

HER2陽性結腸・直腸癌
3週毎ペルツズマブ + 3週毎トラスツズマブ療法 2回目以降

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 250 ml パージェタ点滴静注 420 mg/body	30分 500 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 250 ml トラスツズマブBS注 6 mg/kg	30分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌患者を対象
RAS遺伝子変異陽性の患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。
前回投与日から4週以上経過した場合にはローディング用レジメンを使用する
ただし、6か月以上経過した場合には導入用レジメンを使用する

文献： Nakamura Y, et al. Nat Med. 2021; 27: 1899-1903.

HER2陽性結腸・直腸癌
3週毎ペルツズマブ + 3週毎トラスツズマブ療法(ローディング用)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 250 ml パージェタ点滴静注 840mg/body	30分 500 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 250 ml トラスツズマブBS注 8 mg/kg	30分 500 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌患者を対象
RAS遺伝子変異陽性の患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。
前回投与日から4週を超え、6週未満の場合はトラスツズマブを8mg/kgに増量する。
4週を超えて6週未満の場合にはペルツズマブを420mgとする。
前回投与日から4週以上経過した場合にはローディング用レジメンを使用する
ただし、6か月以上経過した場合には導入用レジメンを使用する

文献： Nakamura Y, et al. Nat Med. 2021; 27: 1899-1903.

MSI-highを有する結腸・直腸癌
ペムブロリズマブ療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	キイトルーダ点滴静注 200mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500ml/h	↓

・インラインフィルター(0.2～5μm)を使用すること。

MSI-highを有する結腸・直腸癌
ペムブロリズマブ療法(6週毎)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	キイトルーダ点滴静注 400mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 132 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500 ml/時	↓

- ・インラインフィルター(0.2-5 μ m)を使用すること。
- ・ペムブロリズマブを6週毎投与で導入する際は、少なくとも最初の3コースまでは3週毎に診察し、バイタルサイン、採血をチェックすること。

HER2陽性結腸・直腸癌
3週毎ペルツズマブ +トラスツズマブ(皮下投与)療法 導入

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	SC	フェスゴ配合皮下注 IN	8分	↓

- * 大腿前面に皮下注射すること
- * 投与後は30分経過観察
- * ペルツズマブ+トラスツズマブ療法の前回投与日から6週以上経過した場合は導入レジメン

HER2陽性結腸・直腸癌
3週毎ペルツズマブ +トラスツズマブ(皮下投与)療法 2回目以降

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	SC	フェスゴ配合皮下注 MA	5分	↓

- * 大腿前面に皮下注射すること
- * 投与後は15分経過観察
- * ペルツズマブ+トラスツズマブ療法の前回投与日から6週以上経過した場合は導入レジメンを使用すること

BRAF遺伝子変異を有する結腸・直腸癌

エンコラフェニブ＋ビニメチニブ＋セツキシマブ併用療法(隔週)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml	60分 250ml/時	↓	
⑥	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→
⑦	PO	メクトビ 90mg/日	1日2回		→

・ メクトビはDay1の夕よりDay15の朝まで

※がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適応。

※一次治療における有効性及び安全性は確立していない。

※ビラフトビ、メクトビはそれぞれ単剤では使用しないこと。

※インフュージョンリアクションがなければ2回目以降アービタックス後のフラッシュ用生食は 50ml 250ml/時に変更可

参考文献：添付文書

Kopetz S et al.: N Engl J Med, 381(17):1632-1643, 2019

インターバル日数 14日

BRAF遺伝子変異を有する結腸・直腸癌
エンコラフェニブ＋セツキシマブ併用療法(隔週)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-14
①	PO	レスタミン(10mg)錠 50mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時	↓	
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	30分 100ml/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 250 ml	60分 250ml/時	↓	
⑥	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→

※がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適応。
※一次治療における有効性及び安全性は確立していない。
※アービタックスを休薬または中止する場合にはビラフトビもそれぞれ休薬または中止すること。
※インフュージョンリアクションがなければ2回目以降アービタックス後のフラッシュ用生食は 50ml 250ml/時に変更可

参考文献：添付文書

Kopetz S et al.: N Engl J Med, 381(17):1632-1643, 2019

インターバル日数 14日

BRAF変異陽性結腸・直腸癌
エンコラフェニブ+Biweeklyセツキシマブ+mFOLFOX6療法

	投与 方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day1-14
①	PO	レスタミン (10mg) 錠 50 mg		↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/h	↓	
③	DIV	生理食塩液注 100ml ホスアプレピタント 150mg	30分 200mL/時	↓	
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml アービタックス 500 mg/m ² (全量を500mlに調製)	120分 250 ml/h	↓	
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	12分 250 ml/h	↓	
⑦	DIV ⑦⑧同時投与	5%ブドウ糖液注 250 ml オキサリプラチン注 85 mg/m ²	120分 流速を算出	↓	
⑧	DIV ⑦⑧同時投与	5%ブドウ糖液注 500 ml レボホリナート点滴静注用 200 mg/m ²	120分 250 ml/h	↓	
⑨	DIV	生理食塩液注 50 ml フルオロウラシル注 400 mg/m ²	6分 500 ml/h	↓	
⑩	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	
⑪	DIV	フルオロウラシル注 2400 mg/m ² 生理食塩液注を加えて総量130ml 2日用ポンプを使用	46時間	→	
⑫	PO	ビラフトビ 300mg/日	1日1回		→

過去にインフュージョンリアクション(軽度を含む)を認めた患者では、添付文書に従い投与を減速(125ml/時)するとともに、投与後1時間は経過観察する(例:生食250mlを点滴) ※アプレピタント、ホスアプレピタント使用時はエンコラフェニブの用量減量が必要